

三条市租税教育推進協議会長賞

税金とは何か

三条市立第四中学校 三年 今井 美月

私は、今まで税金のしくみや使いみちについてあまり知りませんでした。そのため、今回、税金についていろいろ調べました。

まず、税金のしくみについて調べました。税金とは、国や地方公共団体で私たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできないさまざまな仕事をし、これらの仕事をするためには多くの費用が必要であり、そのためみなさんから「税金」という形で負担してもらっていることがわかりました。

次に、税金の使いみちについて調べました。まず、教育に使われる税金は、国民すべてが平等に受けられるように、多くの税金が使われています。みなさんが学校で使っている教科書や机、いすの購入、校舎の建設や修理も多く人が納めた税金によりまかなわれています。学校で私が使っている教科書や机などは、税金のおかげで使えていました。

次に医療介護に使われる税金は、私たちが健康な生活を送るための健康診断や予防接種、高齢者が安心して豊かに暮らせるための施設やサービスなどの事業に係る費用にも税金が使われています。予防接種にも税金が使われているということがおどろきました。

その他にも身近なところに税金が使われています。自然環境に

配りよした再生可能エネルギーを積極的に導入する新エネルギー対策にも使われていたり、災害が起こった後のがれきの撤去や被災した人たちの住宅や店舗の再建、災害に強いまちづくりや古くから受け継がれてきたまち並みの再生に対しても、多くの税金が活用されています。ごみの処理にも税金が使われています。県や市町村が重機などを用いて流木やプラスチック類を回収・処理するほか、ボランティアのみなさんによる海岸清掃が行われています。地域医療の充実でドクターへリが導入されています。救急現場への到着までの時間が短縮され、いち早く初期治療を開始することが可能となり、搬送時間も短縮され、救命率の向上や後遺症の軽減、こうした費用にも税金が使われています。

のことから、税金がなくなってしまったら、教科書の購入、校舎の建設や修理、医療、災害からの復興、ごみの処理などを自分たちが払わなければいけなくなってしまうことがわかりました。税金があることによって、今の楽しい生活が送られていることがわかりました。これから私は、今回知ったことを友達や家族に伝えていきたいと思いました。